

[特集]

東神奈川リハビリテーション病院 ×
神奈川県病院 × 横浜市東部病院

院長特別鼎談

～横浜市東部地域医療の明日を語る～

≫ あなたのまちの
ホームドクター
早苗クリニック
大口さいとうクリニック
田村外科病院
かとうクリニック

知ってトクする!
東部病院スタッフの知恵袋

小児専門医が教えます!

経口補水液で子どもの 脱水症を予防しよう!

LEADERS

リーダーたちが語る東部病院の医療

[vol.11] がんの人のケアも障害を持った人のケアも
根本にあるのは、相手に寄り添う気持ち

重症心身障害児(者)施設サルビア施設長 酒井章次



ご自由
にお持ちください

TAKE FREE



東部病院 information

東部病院の催事・イベント・
市民公開講座・講演会などの
活動報告と今後の予定

7月 July

6/30 **小児科病棟「わくわくルーム」贈呈式**
イベント マニユライフ生命様とNPO法人子ども健康フォーラム様により、小児科病棟のプレイルームが「わくわくルーム」に生まれ変わります！

7/5 **腎臓病教室** **6**
腎臓内科に通院中の患者さんを対象に腎臓病教室を開催いたしております。
皆様のご参加をお待ちしております。

第1回 7月5日(水)
「腎臓のしくみ・はたらきと腎臓病について」(医師)
「腎臓病患者さんの生活へのアドバイス」(看護師)

第2回 7月12日(水)
「腎臓病患者さんの食事療法」(管理栄養士)
「腎臓病のくすり」(薬剤師)

第3回 7月19日(水)
「透析療法と腎臓移植」(医師)
「透析患者さんの食事療法」(管理栄養士)
「腎臓病と社会福祉制度」(ソーシャルワーカー)

時間 14:00～16:00

会場 当院4階 研究室3

7/12 **がんサロン**
がんサロン 「さんぽ道」 **7**

日時 7月12日(水) 14:30～16:00 (14:00 受付)

会場 当院3階多目的ホール(小)

テーマ 「グッズ作り」

前半30分をミニ講和の時間に、残りの時間で集まっていた皆さんでお菓子やお茶を飲みながら、お話をする時間に。

● お問い合わせ

がん相談支援センター

場所：1階 医療連携センター(正面玄関左手5番窓口)

電話：045-576-3000(代表)

≫がんサロン「さんぽ道」とは？

がん患者さんやご家族同士が、病気のこと・生活のこと・将来のことなどについて、悩みや体験を語り合う交流会です。

≫がん相談支援センターのご案内

「がんと言われて不安、話を聞いてほしい」「がんについて話を聞いたけどよくわからなかった」「治療や手術の費用が心配」「症状が辛くてどうにかしたい」等、がんに関する様々な相談に応じるとともに適切な情報を提供します。おひとりやご家族だけで悩まずに解決方法を一緒に考えてまいりますので、どなたでもご相談ください。

● 相談窓口のご案内

場所：1階 医療連携センター(正面玄関左手5番窓口)

受付時間：月～金(平日) 8:30～17:00

相談方法：来院、またはお電話による相談。

原則予約制とさせていただきますので、お電話にてご予約ください。

ご予約・お問い合わせ先：医療連携センター がん相談支援センター

電話：045-576-3000(代) 内線9068



6



7

参加費無料

申込み不要

当日直接会場へ

参加費無料

申込み不要

当日直接会場へ

3月 March

3/12 **職員駅伝大会** **1**

院内活動

今年で8回目を迎える職員によるチーム対抗駅伝大会。仮装する者や勝利に全力を尽くす者、それぞれが思い思いに鶴見川沿いを走り抜けました。

4月 April

4/3 **入職式** **2**

院内活動

近隣の下末吉公園では桜が満開で歓迎ムードが漂う中、新入職員192名が当院スタッフとしてスタートを切りました。

4/29 **市民公開講座**
「子供の便秘あいうえお」 **3**

市民公開講座

それってかくれ便秘かも!? そのまま放っておくと怖いお子さんの便秘について、小児肝臓消化器科の十河副部長によるセミナーを開催。当日は保護者の方や保育園、幼稚園、小学校の教員の方などに多くお集まりいただき大盛況でした。

5月 May

5/14 **「看護フェスティバル2017」** **4**

市民公開講座

ナイチンゲール生誕日にちなんで、中学生・高校生を対象に、看護の現場を体験してもらおうとフェスティバルを開催しました。救命講座に沐浴体験、血圧・脈拍測定や車いす介助などなど内容盛りだくさん! 8月には看護学生の方を対象とした看護体験イベントを予定しております。ホームページで告知しますので、ぜひご参加ください。

今後の予定

5/30 **済生会創立記念日** **5**

イベント

済生会は明治44年5月30日、明治天皇の済生勅語によって創立されました。

6月 June

6/5 **緩和ケア教室**
～がんになったとき、こころの苦痛を和らげる治療があります～

セミナー

第1部 「緩和ケアについて」(医師) / 「がんの痛みとうまく付き合うために」(薬剤師)
「がんとりハビリテーション」(理学療法士・作業療法士)

第2部 「緩和ケアと療養」(看護師) / 「がん療養における心のケア」(臨床心理士) / 「がんと栄養」(管理栄養士)

日時 **第1部 6月5日(月) / 第2部 6月19日(月)**
両日とも14:00から1時間程度

会場 **当院3階多目的ホール**

参加費無料

申込み不要

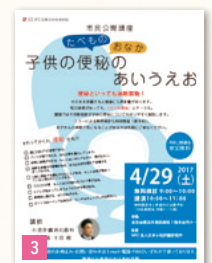
当日直接会場へ



1



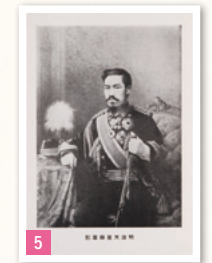
2



3



4



5

LEADERS

リーダーたちが語る東部病院の医療

東部病院を牽引するリーダーたちの姿・人柄・取り組みに迫ります。

がんの人のケアも障害を持った人のケアも
根本にあるのは、相手に寄り添う気持ち



vol.11

重症心身障害児(者)施設サルビア施設長

酒井章次

剣岳に抱かれた町に育ち
医師を目指して東京へ

富山県上市町。北アルプスの山々を
間近に仰ぐ緑豊かな田園都市。酒井が
高校時代までを過ごした部屋の窓から
は、名峰・剣岳が見えた。子どものこ
ろよくやったのは、野球、スキー。学
校が好きで、読書家の少年でもあった。
中学校からは富山市内に通い、高校時
代はサッカーに熱中した。

そんな酒井が医師の道を志したのは、
は、祖父の遺言があったという。
「富山の山奥という冬は雪に閉ざさ
れてしまう。祖父はそんな無医村地区
の出で、医者になれとよく言っていた
んです」とはいえ、数学が好きでコン
ピューター関係の仕事にも魅かれてい
た酒井は、大学進学に際し医学部とと
もに工学部も受験した。結果的に医学
部に合格したことから、子どもの頃か
らの思いをかなえるべく医学部への進
学を選ぶ。故郷を離れ、東京へと向か
うときに酒井の進む道が決まった。

呼吸器外科医として働く中、
緩和ケアと出会う

大学卒業後は大学の呼吸器外科に入
局し、各地の病院で経験を積んだ後、
2007年の東部病院開院時に呼吸器
外科部長兼呼吸器センター長に就任す
る。仕事では肺がんの手術をすること
が多かった。「手術はその人全体を治療

することの一部。本人にとってもっと
大事なことがあるなら、それを実現さ
せてあげることが大切」。だから、術前
には患者さんと徹底して対話した。

5年間の勤務を経て、酒井は同じ済
生会の神奈川県病院に異動する。そこ
では手術からは離れ、主に緩和ケア医
療と健診業務に携わった。肺がんを
扱っていたので緩和ケアについては20
年くらい前から興味を持っていたと言
う。緩和ケアとは病気からくる心身の
辛さを和らげ、その人らしい生き方を
支援する医療だ。「ここ10年は緩和ケア
をやる病院も増えてきましたが、当時
はまだ始まったばかり。私も緩和ケア
学会などで一生懸命勉強しました」。

緩和ケア医療では、どうしても患者
さんの死に向き合わざるを得ない。ひ
と一人の患者さんとの出会い、そし
て別れを通して、酒井は単に治療する
ことだけが医師の仕事ではないと知る。
「それまでは呼吸器外科医としてもつ
と強気でした。でも緩和ケアも大切な
のだと考え始めてから少し変わったよ
うに思います。私にとってはターニン
グポイントだったかもしれない」。

相手の気持ちを大事にする
それは障害児のケアも同じ

本年4月より、酒井は再び東部病院
に呼ばれ、院内の重症心身障害児(者)
施設「サルビア」施設長に就任するこ
とになった。酒井にとっては未経験の

仕事。戸惑いはなかったのだろうか。

「緩和ケアも重症心身障害児の皆さん
のケアも、根本は変わらないのではな
いかと思います。がんで苦しむ人も、肢
体不自由で苦しむ人も、どちらも特に
相手の気持ちを大事にしてやっていか
なければならぬ分野ですから」。

「新しい仕事なので、今は勉強あるの
み」と語る酒井。執務室から積極的
に外に出て、子どもたちの様子やスタ
ッフの働きを見て回る。

「サルビアは急性期病院の中にあるの
で、何かあれば各科の一流の医療チー
ムの力を借りることができ、非常に安
心です。また、綱島北小学校の分校が
あるのも素晴らしいと思います。看護
師さんたちもメディカルスタッフの方
たちも、皆すごく工夫してやっておら
れるので、それを見て今、びっくりし
たり感動したりすることはばかりです
ね」。

障害のある人や病気の人を
もっと知ることが大切

最後に、昨年相模原市で起きた障害
者施設「やまゆり園」での痛ましい事
件について尋ねてみた。

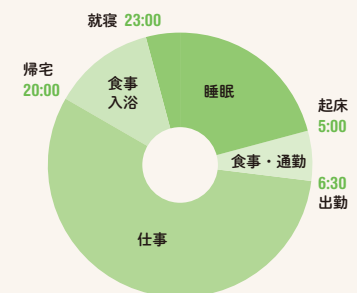
「ショッキングな事件だったけれど、ひ
とつ言えるのは、今の社会では障害を
持った人と健常者が切り離されてし
まっていて、つき合う機会が少ない。障
害者に限らず、病気の人や超高齢者を
あまり見たことがないから、わからな

いんですね。その意味では、健常者が
そういう人たちのことをもっと知らな
ければいけないと思います」。

人と触れ合い、相手の気持ちになっ
て、寄り添う。それこそ酒井が貫いて
きた医師としての姿勢に他ならない。
施設長という立場にあっても「自分も
ずっと臨床に関わっていきたい」と酒
井は願う。「医師ですから、患者さんと
接することが一番目に大事。病棟に出
ないと、スタッフの大変さもわからな
い」。常に現場目線、相手目線。

「今のサルビアは医療の手厚いケアが
あり、モチベーションの高いスタッ
フたちがいて、立地も設備も申し分ない。
これからも子どもたちやご家族にとつ
て安心・安全で心温まる施設であるよ
うスタッフとともに力を尽くしていき
たいと思いますし、その中で私の経験
を活かしていければ嬉しいです」。

[LEADER'S SCHEDULE]



誰よりも早く、毎朝6時半には執務室に到着す
る。休みの日にはスカッシュで汗を流すのが今
の楽しみ。ボランティアで各種の競技選手のドー
ピング検査員を務めることもある。



酒井には寅さんをこよなく愛す
る一面も。一番のお気に入り
は浅岡ルリコをマドンナに迎え
た「寅次郎相合い傘」だそう。

子どものころからのスポーツ
好きは変わらず、今は時間が
あればスカッシュで汗を流す。



酒井章次

Shouji Sakai

済生会横浜市東部病院
重症心身障害児(者)施設
サルビア施設長

1976年慶応義塾大学医学部
卒業。同大学医学部外科学教
室入局。関東圏各地の病院勤
務を経て、2007年東部病院開
院に伴い呼吸器センター長に就
任。2012年済生会神奈川県
病院呼吸器外科部長、2017
年より現職。日本呼吸器学会
専門医・指導医、日本呼吸器
外科学会専門医・評議員、日
本禁煙学会専門医等を務める。



↓ 病院は機能によって4種類に区分される

病気が治っていく過程には高度急性期から急性期、回復期、慢性期までのステージ（段階）があり、病院にはそれらに応じた機能の分化が求められています。

急性期



高度急性期病院

重症な患者を受け入れ、特に集中的で高度な医療を提供する病院。救命救急が含まれる。

東部病院
(鶴見区)



急性期病院

急性期の患者に対し、状態の安定化に向けて医療を提供する病院。救急や一般的な手術が含まれる。

神奈川県病院
(神奈川区)



回復期病院

急性期治療が終わった患者に対し、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する病院。

東神奈川リハビリテーション病院
(神奈川区)



慢性期病院

長期にわたって療養が必要な患者が入院する病院。

長期療養
介護等

**進められる
病院の機能分化**

三角 先ほど機能分化ということに触れましたが、今、それぞれの病院の機能を明確にして、得意分野に応じて役割分担をしていくという動きが国を挙げて進められています。例えば東部病院は「高度急性期」に特化した病院ですから、最も重篤で緊急度の高い患者さんを受け入れ、集中治療や高度な治療を行う。

江端 東神奈川リハビリテーション病院は、そうした急性期の治療が終わった後の「回復期」の患者さんを受け入れ、在宅につなげる病院というわけです。

長島 神奈川県病院は「急性期」の病院ですが、東部病院からの転院患者さんの受け入れなど回復期の機能も持つ。急性期と回復期にまたがっている中間的な立場の病院といえます。そうすると、足りないのが「慢性期」の病院ということになります。

三角 それは必ずしも済生会がやる必要はないと思いますが、地域としては存在しなくてはならない。「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」と4つ

期病床を新病院に移すと、今度はその空いたベッドをいかにうまく使っていくかというタスクが生じる。これは本来は心配しなくてはいけない部分だと思いますが、そこは何かになるだろうと、楽しみで楽しみで仕方ない感じですね。

患者さんとも意識革命を

江端 先ほど挙げられた4種類の病院がバランスよく存在していればいいのですが、実際は急性期病院の数に対して回復期や慢性期を担う病院が圧倒的に不足しています。平成12年に回復期リハビリテーション病棟制度ができた当時、人口10万人当たり50床を目標に整備が進められてきたのですが、現状、神奈川県は30床強しかありません。日本でワースト2位なんです。

三角 その意味でも、新病院の開設は時代と地域のニーズに合ったものといえますね。私たちとしても、これまで転院先がなくて当院に居ざるを得なかった患者さんを安心して送り出すことができ、それによって本来の役割である高度急性期医療に専念することができると。

長島 回復期や慢性期の患者さんがいつまでも急性期の病院にいたら、本当に急性期医療を必要とする患者さんが入院できませんし、限られた医療設備や人材が有効に使われないことになってしまいます。

三角 患者さんとしては、治療が終わって回復して自宅に戻るまでずっと同じ病院にいたいと思うかもしれません

東神奈川リハビリテーション病院×神奈川県病院×横浜市東部病院

院長特別鼎談

～横浜市東部地域医療の明日を語る～

東部病院のある鶴見区と隣接する神奈川区を併せた横浜市東部地域。人口50万を擁するこの地域で新たに回復期医療を担う済生会東神奈川リハビリテーション病院の開設が決まりました。来年2月の開院を目指して準備に奔走する江端広樹院長を迎え、同じ済生会グループの神奈川県病院・長島敦院長、東部病院・三角隆彦院長が、地域の医療の明日を語ります。



済生会神奈川県病院
長島 敦 院長



済生会東神奈川リハビリテーション病院
江端広樹 院長



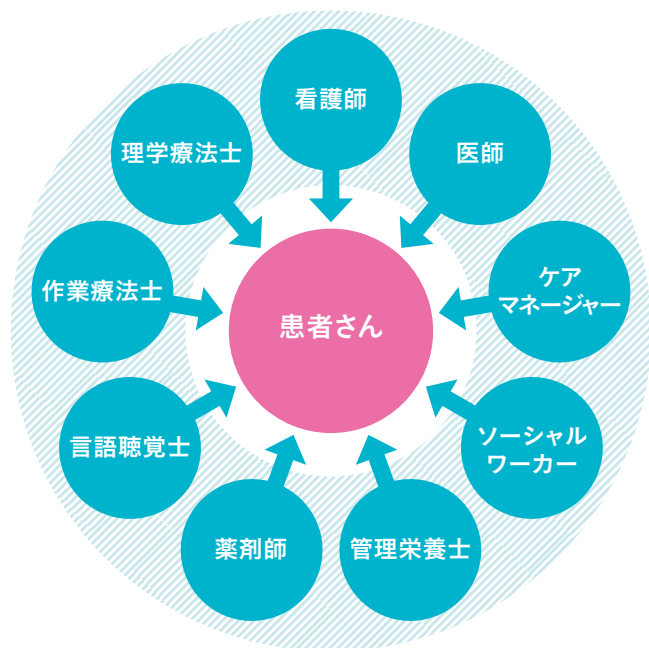
済生会横浜市東部病院
三角隆彦 院長

**待ち望まれた
新病院の開院**

三角 この地域には最初に神奈川県病院があり、東部病院が10年前にできたわけですが、患者さんはまだまだ増えていて、ベッドが足りないという状況がずっと続いていました。どちらの病院も大きく増床することは事実上不可能でしたから、外にベッドが必要だと考えていたところ、済生会が横浜通信病院の事業を引き受けることになり、新病院設立に至ったという経緯があります。それならばいいそのこと機能分化をさらに明確にして、新病院には回復期の部分を担ってもらおうということになりました。

江端 そうですね。新しくできる東神奈川リハビリテーション病院は、回復期のリハビリテーションに特化した病院です。今までは神奈川県病院で回復期リハビリを行っていたのですが、その機能を移し、99床でスタートします。今はこれからという病院にしているのかという期待がある一方、専門の病棟だけになりますので、合併症が起きた時の対応など課題もあります。幸い神奈川県病院とは至近距離ですので、何かあればこれまで通り内科や外科の先生方にご相談したり、助けていただいたりするつもりです。

長島 神奈川県病院としては、何とか増床したいというのは長年の夢でしたから、それが実現できるということですね、非常にワクワクしています。回復



回復期リハビリテーション病院のチーム医療

リハビリテーションは、単に病気の治療や身体機能の回復を目的とするだけでなく、生活の再建、社会への参加、心の問題への対応も含めてアプローチする全人的な医療です。回復期リハビリテーション病院では理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）をはじめ、医師や看護師、ソーシャルワーカーなど多職種のスペシャリストがチーム医療で患者さんと家族を支えます。

安心して受けられる地域医療を目指して

三角 在宅医療に関しては横浜市はかなり進んできていて、医師や訪問看護ステーションも増えています。ただ、在宅患者さんは医療だけでなく介護や生活支援も必要ですから、それを含めた整備となるとまだまだですし、家族の理解や介護力がハードルとなっていて在宅

江端 高い技術を持つ専門家がいて、急性期病院の先生に転院先として選んでいただけるような充実した病院をつくるのが目標です。今、慶應大学理工学部生命情報学科の研究室と慶應大学医学部リハビリテーション医学教室と共同で脳機能の研究を行っています。そうした研究成果を取り入れた新しい取り組みにも協力していきたいと考えています。

長島 東神奈川リハビリテーション病院には地域に密着しつつ、日本の最先端を行く世界レベルのリハビリの提供を目指していただきたいですね。未来のリハビリテーション医療への貢献を期待しています。

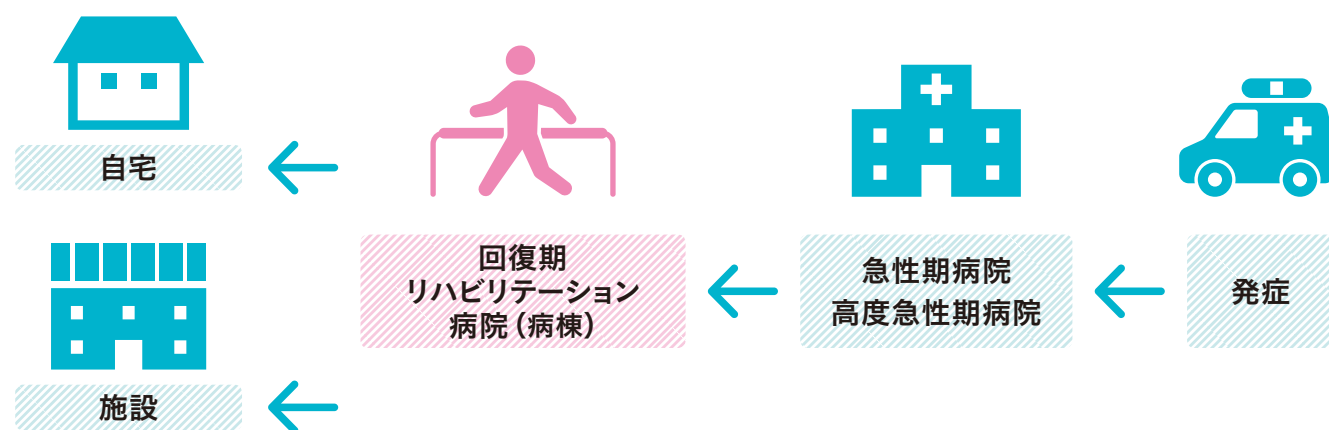
三角 横浜のこの地域は、今後脳卒中の患者さんが1.6倍になると予想されています。その需要を満たして行くことを考えると大変ですが、果たす役割も大きいですね。

江端 高年齢者が一人で生活していることが多く、より安心して自宅に戻っていただけるのではないかと思います。ただ、ただのではありませんか？

長島 我々は近隣の病院とは顔の見え、関係で連携ができていると思いますし、院長同士も仲がいいんです。とは



病気発症から自宅に戻るまで



済生会グループの病院として

長島 病院の役割分担と連携は今後さらに重要になりますが、その点、3つの病院は同じ済生会グループで、みんな気心知れた仲ですから、コミュニケーションがとりやすいですね。困ったところは助け合える。

三角 済生会というまったく同じ活動目標をもった者の集まりなので、とてもやりやすい。

長島 我々は近隣の病院とは顔の見え、関係で連携ができていると思いますし、院長同士も仲がいいんです。とは

回復期病院に期待すること

長島 高齢化社会を迎え、国は長期療養型の病院を減らして、在宅医療へと誘導しようとしています。回復期リハビリテーション病院はまさに病院と在宅をつなぐ最前線といえますね。

江端 そうですね。当院では特に脳卒中の患者さんのリハビリを中心に行っていく予定です。多くの方は何らかの身体的後遺症を残したまま、自宅に帰られますので、ケアマネージャーさんを中心とした地域のスタッフに患者さんの情報を共有してもらうことが大切です。また、現在、神奈川県病院のスタッフが訪問リハビリを行っています。が、新病院ではこれをさらに強化するとともに、通所のリハビリを新たに始めようと考えています。同じ病院のス

いつでも、実際にニーズに応え合うことができるかというと、そう簡単にはいかない。それが我々済生会、同じ仲間であれば、ぐっと高いレベルの連携ができる。

江端 3つの病院が競合関係にならずに、1つのグループとして機能を分担してやれる。

三角 患者さんの転院先を紹介する時も、もちろん他の病院にもお願いしますが、神奈川県病院や東神奈川リハビリテーション病院なら使いやすい。患者さんのシフトがしやすいということですね。

長島 高年齢者が一人で生活していることもありますが、老老介護（高齢者が高齢者を介護する）、認知症（認知症の人が認知症の人を介護する）などいろいろなケースがあり、難しいですね。ご自宅に帰れない方を施設にお願いできるかというと、施設も数が限られていて、そんなにすぐには入れない。

長島 それを行政の責任という声もあるけれど、高齢者がここまで増えたのが一番の原因です。誰かのせいにするのではなく、国民みんなが自分自身の問題として死生観を含め、医療について一生懸命考えないとダメだと思う。

我々は病院から地域に出て行き、地域住民と一緒に考えていきたいと思っています。それが中小規模の病院の1つの仕事だと思っています。

三角 今は取り組むべき課題がたくさんあって苦しい時期ですが、見方を変えれば医療に携わる者として非常にやりがいのある時期とも言えます。特にこの地域では医療のニーズはまだまだ拡大していますから、いろいろな手を打つことによって伸びていける部分がある。今回の3つの機能分化をした病院をつくるということもその1つです。いいシステムをつくれれば、必ず花は咲くと信じています。誰もが質の高い医療を安心して受けられる地域を目指して、ともにがんばっていきま



長島 敦

Atsushi Nagashima

済生会神奈川県病院院長

1985年浜松医科大学卒業。同年慶應義塾大学外科学教室入局。済生会神奈川県病院外科部長、東部病院外科部長、副院長等を経て、2016年より現職。



江端広樹

Hiroki Ebata

済生会東神奈川リハビリテーション病院院長

1985年慶應義塾大学医学部卒業。同大学リハビリテーション医学教室入局。済生会神奈川県病院副院長を経て、2017年より現職。神奈川県病院顧問・リハビリテーションセンター長を兼任。



三角隆彦

Takahiko Misumi

済生会横浜市東部病院院長

1981年慶應義塾大学医学部卒業。同大学外科学教室入局。済生会神奈川県病院外科、東部病院副院長・心臓血管外科部長等を経て、2011年より現職。



今さら聞けない!? 知らなかった! と思うようなネタを
東部病院のスタッフに直撃取材。
専門のお仕事だから知っている、
あなたの生活に役立つ知恵を伝授!

知ってトクする!

東部病院 スタッフの

知恵袋

小児専門医 が教えます!

経口補水液 で子どもの脱水症を予防しよう!

小さな子どもや赤ちゃんが下痢や嘔吐、発熱などを起こした時に心配なのが、脱水症です。
今回の知恵袋は、脱水症や熱中症の予防・改善に役立つ経口補水液についてお伝えします。

経口補水液って何?

下痢や嘔吐を起こすと、体の水分だけでなく、体液中のナトリウムやカリウムなどの電解質も失われます。経口補水液は、体から失われた水分や電解質を速やかに吸収・補給するように最適なバランスで配合した飲料です。子どもは大人に比べ体重に占める水分量が多いことや、体の機能が未発達なことから、かぜや感染性胃腸炎などをきっかけに脱水症になりやすい危険があります。脱水のサインを見逃さず、早めに経口補水液を与えて重症化を防ぎましょう。



子どもの脱水のサイン

以下のような症状が見られたら、脱水状態が疑われます。体調の変化をよく観察し、不安な場合は小児科へ相談してください。

- 皮膚や唇、口の中が乾いている
- おしっこの色が濃く、量が少ない
- 泣いても涙が出ない
- 元気がない、機嫌が悪い
- 食欲がない

ちびちび・ごっくん!?

まだ脱水の症状が現れていなくても、嘔吐や下痢が始まったら、速やかに経口補水液を飲ませることが大切です。自分で飲める子どもなら、声をかけて気持ちを盛り上げ、楽しく飲ませてあげましょう。その際、ゆっくり少量ずつ飲むことで、体に必要な水分や電解質が効率よく吸収されます。子どもがぐったりしている時は、少し体を起こし、スプーンで飲ませます。症状が治まり、食事ができるようになったら、経口補水療法は終わりです。



G 子どもに 飲ませる量は?

子どもの体重や下痢や嘔吐の量によって加減が必要ですが、最初は5分おきに5mlを目安に試します。下痢や嘔吐が続いている間は飲ませ続け、少し治まってきたら飲む間隔を3分ごと、2分ごと、1分ごと…と縮め、徐々に飲む量を増やしていきましょう。

G イヤイヤをして 飲んでくれないときは?

ゼリータイプの経口補水液ならスプーンでもこぼれにくく、飲み込みやすいものです。それでもダメならベビースポイトを使い、舌に触れないようゆっくりと流し込む方法をお試しください。経口補水液を凍らせてアイス感覚で口に含ませるのもよいでしょう。

G もしも、飲んだ あとに嘔吐しちゃったら?

嘔吐で出てしまった量と同じくらいの経口補水液を、またゆっくり少しずつ飲ませてください。下痢が続く場合も同様です。ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の場合、嘔吐のピークはせいぜい半日～1日、そこを過ぎれば問題ありません。



済生会横浜市東部病院
小児肝臓消化器科副部長
十河 剛
Tsuyoshi Sogo

経口補水液をご家庭に!

子どもは時を選ばず急に具合が悪くなることがよくあります。いざという時にあわてないために、ご家庭に経口補水液を常備しておく心安いです。経口補水液は薬局や病院の売店などで購入できます。





あなたのまちのホームドクター

このコーナーでは、東部病院と連携している地域の医療機関をご紹介します。
東部病院では、みなさまのかかりつけ医と協力し地域の医療を守っています。

早苗クリニック

京急鶴見駅東口すぐ

内科 循環器内科 心臓血管外科

院長／早苗 努（さなえ つとむ）

住所／〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-1-3
矢上屋ビル4F

電話／045-501-1070

診療時間／9:00～12:00／15:00～19:00 休診日／土午後・水日祝

受診方法 ☐完全予約制 ☒予約制あり ☐予約制なし

	月	火	水	木	金	土	日
午前	●	●	×	●	●	△*	×
午後	●	●	×	●	●	×	×

*土は12:00までの受付



患者さんの緊張などによる「白衣高血圧」を抑えるため、普段からYシャツで診療しています。当院のモットーは、薬を多用せず、その人のライフスタイルに直接関わることに。症状ではなく人生を診るように。一般診療だけでなく、心臓手術後の管理を得意とし、禁煙治療、AGA治療（薄毛治療）も導入しています。

大口さいとうクリニック

JR横浜線 大口駅より徒歩6分／京浜急行線子安駅より徒歩6分

内科 外科 消化器内科 肛門外科

院長／齋藤 直康（さいとう なおやす）

住所／〒221-0002 神奈川県横浜市神奈川区大口通30-6 鈴鹿ビル2F

電話／045-431-7177

診療時間／9:00～12:30／15:00～18:30

休診日／土午後・水日祝

受診方法 ☐完全予約制 ☐予約制あり ☒予約制なし

	月	火	水	木	金	土	日
午前	●	●	●	×	●	△*	×
午後	●	●	●	×	●	×	×

*土は13:00までの受付



「家族みんなのかかりつけ医」として、大口商店街でクリニックを開業しました。もともとの専門である消化器外科の経験を活かしながら、科の垣根を設けず、内科をはじめ様々な病で悩む患者さんが気軽に相談できるようなクリニックを目指します。リラックスした雰囲気と安心出来る温かさをモットーとしています。

田村外科病院

JR各線川崎駅 西口北バスのりば【戸手一丁目】停留所下車

外科 小児外科 消化器外科 整形外科 肛門科

リハビリテーション科 循環器科

院長／田村 哲郎（たむら てつろう）

住所／〒212-0005 神奈川県川崎市幸区戸手1丁目9番13号

電話／044-544-6111

診療時間／9:00～12:00／14:00～17:00 休診日／日・祝・年末年始

受診方法 ☐完全予約制 ☐予約制あり ☒予約制なし

	月	火	水	木	金	土	日
午前	●	●	●	●	●	●	×
午後	●	●	●	●	●	●	×



開設して50年。当院は外科病院ですが、地域の皆様の「かかりつけ医」として、健康相談には何でもお応えしようというスタンスでおります。現在は大腸肛門科をメインに、外科疾患はもちろん高血圧、糖尿病、認知症といった内科疾患の診療も各科の専門医師の協力で診療させていただいておりますので、お気軽にお問い合わせください。

かとうクリニック

東急東横線綱島駅よりバス5分

内科 呼吸器科 アレルギー科 小児科

院長／加藤 雄二（かとう ゆうじ）

住所／〒221-0001 神奈川県横浜市港北区樽町3-6-38 リリアタウン2F

電話／045-545-0222

診療時間／9:00～12:30／15:00～19:00

休診日／水士午後・日祝

受診方法 ☐完全予約制 ☐予約制あり ☒予約制なし

	月	火	水	木	金	土	日
午前	●	●	●	●	●	●	×
午後	●	●	×	●	●	△*	×

*土午後は15:00～17:00



「住み込み」の診療所勤務に代表されるプライマリ・ケアは言うに及ばず、慢性の呼吸器疾患や肺癌検診を始めとする呼吸器疾患の画像診断・治療などの専門性も生かして、二次・三次医療機関との綿密な連携を保ちつつ「一般医・家庭医」として、地域医療に少しでもお役に立ちたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

PICK UP

予約のない再診患者さんの受付場所が変わりました

これまでは予約の有無に関わらず、受診歴のある診療科に再受診をご希望される場合は各診療科の受付へ直接ご案内しておりましたが、4月17日より右記のとおり変更いたしました。

対象外の診療科

産科、婦人科、リプロダクションを再診希望の方は、予約の有無に関わらずこれまでと同様に直接2階のレディースセンター受付へお越しください。

再診受付場所

旧	予約のある方	予約はないが過去受診歴のある診療科
	各ブロック受付	各ブロック受付
↓		
新	予約のある方	予約がない場合
	各ブロック受付	1階 総合受付

また看護がしたい！ そんなあなたを応援します ～地域潜在看護師支援事業～

看護の現場ちょっとのぞいてみませんか？

「今の医療現場はどうなっているの？」「近いうちに現場復帰を目指したいが不安」「当分は復帰できないが、何か看護の研修を受けてみたい」など潜在看護職の皆さまのご要望にお応えしようと、鶴見区の各病院が『潜在看護師研修会～カムバックナース～』を定期的開催しています。

1回目 6月24日(土)・29日(木)・30日(金) **申込期限** 6月8日(木)

2回目 11月4日(土)・9日(木)・10日(金) **申込期限** 10月19日(木)

対象 鶴見区内の病院で働きたいとお考えの看護師、准看護師
いずれかの資格を持つ方。※助産師を除く

参加費 無料(交通費実費)

研修内容

1日目

「看護に関する最新の動向」
感染管理および安全管理の講義で最新の知識と技術を学びます
「基礎看護技術体験」
(採血・血管確保・導尿・挿管介助・輸液ポンプ・BLS・吸引等)
「病院概要説明と見学病院の選択」

2・3日目

「希望病院の見学」
希望者のみフォローアップ研修として別日に希望病院で看護現場体験

開催病院

森山病院・片山整形外科記念病院・佐々木病院・徳田病院・鶴見西口病院・鶴見大学歯学部付属病院・さいわい鶴見病院・ふれあい鶴見ホスピタル・平和病院・汐田総合病院・済生会横浜市東部病院

申込方法

TEL (045-576-3000) または E-mail (kango@tobu.saiseikai.or.jp) でお申込み下さい。その際、氏名・住所・年齢・取得されている資格・離職期間・臨時保育室利用の有無・見学希望の病院名をお知らせ下さい。
事務局 済生会横浜市東部病院 看護部 早川あて



理念 「私たちは、医療を通じて生命を守ります」安心して受けられる医療 患者さんに優しい医療 常に一歩先の医療 地域社会に貢献する医療

基本方針 1. 医療の質の向上 2. 患者さんご家族の満足度の向上 3. 患者さんが参加する医療の展開 4. 高度な急性期医療および専門医療の提供
5. 地域から選ばれる病院作り 6. 働きがいのある病院作り 7. 安定した経営の確保

TOBUTIME

vol.19 2017年5月20日発行

発行人：三角隆彦
発行：済生会横浜市東部病院
編集・取材協力：株式会社モンタナセブンピクチャーズ



社会福祉法人 SAISEIKAI YOKOHAMASHI TOBU HOSPITAL
済生会横浜市東部病院

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3-6-1
TEL:045-576-3000(代表) FAX:045-576-3525
http://www.tobu.saiseikai.or.jp/